

静かなブーム スポーツチャンバラ



スポ SPECIAL

競技人口4万人

去年は世界大会も開催

昔、道場などで「けん」見られたチャンバラ遊び。最近、近頃なってきたと思ったら、いよいよスポーツ競技として生き永らえていた。その名もスポーツチャンバラ。競技人口は約4万人。世界三十四カ国で行われており、昨年からは世界大会も開催。若手男女が手軽に楽しめる格闘技として、いま、静かなブームを呼んでいる。

(千葉 孝記者)

剣道への疑問からスポーツチャンバラができたのは昭和四十六年。全日本護身道連盟の田辺哲人会長(〇〇)横浜市在住)が考え出した。銃剣道、剣道に長く携わるうちに「なぜ防具の部分しか打ってはいけないのか」という疑問がわいたのがきっかけ。

「古代剣法はそもそも自由打ちが自由だ。しかも安全性には十分に配慮されている。剣がスポン

シのようなものでできています。片手で振り回す後藤又兵衛、斬がっつて足を打つ牛若丸、燕(つばめ)返し、佐々木小次郎に、一刀流の千葉周作、子供たちをあこがれたった剣聖は、みんな愛憎しい流儀や作法にとられない。その昔の剣法に戻すと子供の遊びのチャンバラ(目をつけたんです)。

「外国の方には日本武道の流儀、作法といったものはなかなか理解しにくい。その

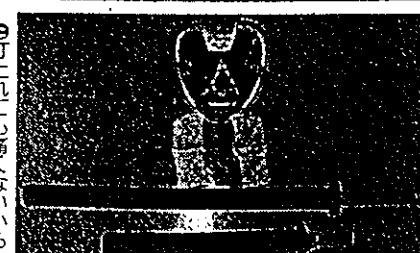
「愛知県内の大学で同好会があるのは岡崎女子短大と南山大の二校。まだまだこれから」のスポーツといった感じだが、愛知県東海市の横須賀中学では、来年の新学期にも部活動として始める予定だ。

「十一月十五日には名古屋市の同好会主催の大会が行われる。強さを競うスポーツの印象が濃くなってきたが、愛知県護身道連盟副会長の多謝利信さん(〇〇)は「もっと気軽に、けがのない格闘技として始めてみては」と勧める。

「愛知、岐阜、三重の東海三県では今年になってようやく競技人口が増えてきた。現在、約三万人。それでもレベルは高い。三年前、全国に先駆けて女子大に同好会をつくった岡崎女子短期大学の松永美弘助教(〇〇)は「この証書に」町道場、が本格的にスタートしたのが昨年の九月。にもかわらず、昨年の世界大会は愛知県から二人の優勝者が出ています。無成長しているところとして注目されているんですよ、愛知県は

「愛知、岐阜、三重の東海三県では今年になってようやく競技人口が増えてきた。現在、約三万人。それでもレベルは高い。三年前、全国に先駆けて女子大に同好会をつくった岡崎女子短期大学の松永美弘助教(〇〇)は「この証書に」町道場、が本格的にスタートしたのが昨年の九月。にもかわらず、昨年の世界大会は愛知県から二人の優勝者が出ています。無成長しているところとして注目されているんですよ、愛知県は

①打たれても痛くないから思い切り攻められる。②スポーツチャンバラの道具一式、手前から小太刀、長剣、小手、面



◆剣道、フェンシングとの主な違い。【剣道】打つ部分が面、こて、臍二限られ、しかも上から打たなければならぬ。【フェンシング】専ら突きが専門で、打つ、切るなどの技がない。

◆道具一式、目や耳、鼻を守る面、指、爪を守るこて。剣は40%の短剣、60%の小太刀、1本の杖(じょう)、2本の棒、2.5倍10%のなぎなた、楯(やり)の7種類。安全性を考えて、相手の体を傷つけるような負荷がかかると全性考えて、相手の体の中しんに、ポリエチレン製のソフト材をかぶせている。

中部スポーツひろば